

「ひろしまマイ・タイムライン」を活用した防災意識の醸成の取組について

令和2年6月19日
みんなで減災推進課

1 要旨

- いつ起こるか分からない自然災害から命を守るためには、日頃から、必要な備えを行った上、いざという時には、確実な避難行動を実践することが極めて重要である。
- このため、災害に備えて日頃から行うべきことや、災害が発生する危険が迫った際、いつのタイミングで何をすべきか、そして、いつ避難するのかなどの「マイ・タイムライン」(自らの防災行動計画)を県民の皆さんに作成していただき、確実な避難行動につなげる「ひろしまマイ・タイムライン」の取組を推進することとしている。
- この度、「ひろしまマイ・タイムライン」教材が完成したので、県内の全小学校へ配布し、授業や宿題などで児童に作成してもらうほか、自主防災組織等へも配布して、地域の防災教室等での活用を促す。
- 加えて、デジタル版の教材も用意することにより、幅広い層の県民に作成を促す。

2 「ひろしまマイ・タイムライン」の主な特徴

- ・ 浸水害に加えて広島県特有の土砂災害のリスクの認識を深めるため、土砂災害の種類やメカニズム、過去の発生事例等を多数掲載

【避難行動の研究結果を反映】

- ・ 自分の行動だけでなく、家族や知人に避難を呼びかけることが、避難行動を促進することを強調
- ・ 指定避難場所だけでなく、知人・親戚など複数の避難先の確保しておく重要性を強調

3 教材の概要

(1) 教材の種類

冊子版：小学生(低学年用)、小学生(高学年用)、一般用の3種類

デジタル版：ポータルサイト「みんなで減災 はじめの一步」内に、マイ・タイムライン作成ページを設け、パソコンやスマートフォン等での作成も可能とするほか、冊子版教材をPDFでダウンロードできる機能を備える。

(7月上旬開設予定 <https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/mytimeline>)

(2) 教材(冊子版)の配布先

- ・ 県内の小学校(特別支援学校を含む)の全ての児童
 - ※ R3年度以降：県内の小学校(特別支援学校を含む)の小1、小4の児童
 - ※ 中学生以上は、デジタル版での活用を促す。
- ・ 自主防災組織等

4 「ひろしまマイ・タイムライン」作成促進に向けた取組

- 県内全小学校の授業や夏休みの宿題などで作成に取り組んでいただくよう、県・市町教育委員会や関係機関と連携して促していく。なお、作成が円滑に進んでいくよう、学校の教職員などを対象とした指導者向けWeb動画を作成することとしている。
- テレビ・ラジオのほか、SNS、タウン情報誌やフリーペーパーなど様々な媒体や、みんなで減災推進大使を活用した周知を行い、幅広い層の県民に作成を促す。
- また、市町と連携し、市町のホームページ及び広報誌等への掲載に加え、地域に浸透力の大きいケーブルテレビ等の媒体を活用し、地域住民に作成を促すこととしている。
- さらに、自主防災組織へは、呼びかけ体制構築のセミナーなどの機会を捉えて、活用していただくよう促していくこととしている。

5 今後のスケジュール

7月上旬：県内全小学校(特別支援学校を含む)へ冊子版「ひろしまマイ・タイムライン」の配布